

令和4年度

新潟市中央区市民アンケート
調査結果に基づく意見書

令和5年3月

中央区自治協議会 第3部会

1. 実施項目

1. 市民アンケートの実施について

中央区に関する現状や課題、ニーズを把握するため、中央区に在住の方を主な対象とし、「新潟市中央区市民アンケート調査」を実施した。

【調査内容】

- | | |
|-----------|--|
| (1) 調査対象数 | 新潟市中央区内外の住民 |
| (2) 調査設問数 | 22 問（うち自由記載 6 問） |
| (3) 調査方法 | 紙媒体への記入回答及び新潟市電子申請・届出サービス「かんたん申込」を利用した、オンライン回答の 2 つの方法 |
| (4) 調査期間 | 令和 4 年 4 月～6 月 |

【回収結果】

有効回収数 575 件

2. アンケート結果まとめについて

老若男女 575 名の回答が得られ、各設問における傾向を確認することができた。自由記載で回答を求めた設問についても、多くの具体的な意見が寄せられた。

本調査結果をもとに、中央区自治協議会第 3 部会で意見交換を行い、意見書として各方面へ情報提供するため、意見事項をまとめた。

令和 4 年度
新潟市中央区市民アンケート結果報告書
※右記 QR コードより参照可能



新潟市 HP > 中央区 > 中央区の取り組み > 区自治協議会

> 「令和 4 年度新潟市中央区市民アンケート調査」結果報告書及び中央区自治協議会第 3 部会意見書

2. 意見事項

意見1：マンガ・アニメ文化の魅力発信について

発信したい中央区の魅力として、マンガ・アニメに関する回答が多く、特に若者の関心が高い結果となった。しかしながら、関心の高さがイベントへの参加にはつながっていないようである。実際にマンガ・アニメ文化にふれてもらう工夫や魅力発信の促進を図る必要がある。

【主な取組（意見）等】

(1) 既存事業の発展的な活用

- ・既存のまち歩きに加え、ロケ地巡りまち歩きや新潟ゆかりの作品に限定したコスプレフォトまち歩きなどを企画し盛り上げるのはどうか。

(2) 魅力発信コンテンツの整備

- ・マンガ・アニメ文化にふれる入口となるようなプロモーションビデオやリーフレットなどがあると、より幅広い世代の関心を高めることができるのではないか。なお、アンケート結果では、まちの情報を得る手段をテレビとする回答が6割を超えて最も高かったため、テレビを活用したマンガ・アニメ文化の発信も効果的ではないか。
- ・路面店のショーウィンドウに新潟ゆかりのマンガ・アニメや専門学校生の作品を飾ることによって、誘客や宣伝につながり、企業と作品制作者の双方の利益になるのではないか。新潟市に対するマンガ・アニメ文化のイメージがより強く持てるような環境を作ることができるか。

(3) 現状分析

- ・全国から新潟市の専門学校を目指してくる現状を把握、分析することにより発信すべき魅力が見えてくるのではないか。

2. 意見事項

意見2：観光（誘客）の推進について

最も力を入れてほしいと思うものでは、「観光（誘客）」がトップで 36.3%を占める結果となった。19 歳以下の回答が全体の 52.5%を占める本アンケートにおいて、将来にかかる影響を見込んで、認知度が低い結果となった観光資源など含め、PR の工夫を図る必要がある。

【主な取組（意見）等】

(1) 認知度を体験へつなげるきっかけづくり

- ・「古町どんどん」「にいがた酒の陣」「にいがた食の陣」「NIIGATA 光のページェント」などに関して、「知っている」と回答した人数に対して、「行ったことがある」と回答した人数が低い結果となった。この結果から、参加していない層の分析とそれに応じた参加につながる仕掛けをつくることで集客増に寄与できるのではないか。

(2) 既存事業と既存イベントのコラボ

- ・まち歩き事業と各所で開催されるお祭りやイベントの実施日を重ねるなどすることで、イベント初参加のきっかけづくりや一度お祭りやイベントに参加したことがある人もまち歩きガイドの説明を聞いて参加することで、別の視点で体験することができ、認知度向上と興味の深化につながるのではないか。

(3) 食の魅力のさらなる活用

- ・中央区の魅力を発信するとしたらどのようなテーマで発信するかを自由記載で聞いた設問において、歴史文化、豊かな自然、マンガ・アニメに次ぐかたちで食関連が挙げられた。食はまちの魅力を側面で支える重要な観光資源であり、中央区にはすでに多くの食が存在し、その魅力を発信している。さらなる効果を生み出すため、食の各スポットを巡ることができるような仕掛けを推し進めることで、魅力やまちの回遊性向上につながるのではないか。

2. 意見事項

意見3：自然豊かな中央区への愛着について

72.7% (418人)の方が中央区に愛着があるという結果となった。そのうち、「自然環境が豊かだから」をその理由とした人数は、200人であった。また、居心地がよい場所、安心できる場所（自由記載の設問）では、やすらぎ提、次いで鳥屋野潟が多い。商業施設の多い中央区への愛着や住みやすさを形成しているのが、自然環境でもある点に着目する必要がある。

【主な取組（意見）等】

(1) 自然エリアと商業エリアをつなぐ

- ・やすらぎ提や公園、神社と商業施設（本町市場やピア万代、沼垂テラスなど）をつなぎながら、各スポットの食も楽しめる内容を盛り込んだ回遊マップを作成し、徒歩や自転車（にいがた2kmシェアサイクル）で巡ることができるような仕組みにより、車社会を離れ、徒歩や自転車で巡る中央区を体感してもらうのはどうか。

(2) 住みやすい中央区の継続

- ・区民の中央区への愛着の高さから、どの世代においても9割近い回答者が「住みやすい」と評価しており、世代間の差異がない点は注目すべきである。この結果の背景となった中央区の魅力（安心できる場所や自然環境と商業施設の融合が感じられる点など）を継続することも必要である。